

MINORU NEWS

東村山市議会議員 渡辺みのる活動報告



通学路分断する大型道路に信号機を

東村山市内では、複数の都市計画道路の整備が進められています（下地図）。その多くが、小中学校の通学路を分断することがわかっています。

昨年末、地域の方と一緒に恩多町と野口町で整備されている都市計画道路を歩き、既存道路とどのように交差するのかを調査しました。3・4・5号線（恩多町）を調査しているときに通りかかった方は、「ここ（空堀川遊歩道付近）には絶対に信号が必要」との意見でした。

2018年に「道路が完成する前に、通学路には信号が必要」と質問した際の答弁は、「道路ができてから、保護者などから要望があれば検討する」というものでした。

大きな道路整備することで通学路を分断してしまうことはわかっているのですから、

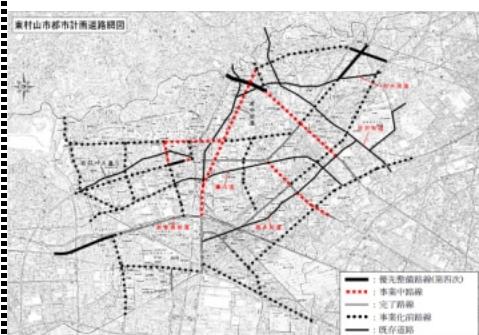
都市計画道路3・4・5号線と交差する空堀川付近（下）と野火止用水付近（右）。恩多町。



最初から信号機の設置を計画しておくべきだと思います。

東村山駅東口から伸びる「さくら通り」のスポーツセンター北側の交差点では、当初信号機設置の計画はなく未設置のまま供用開始となりました。交通事故が複数回発生したことや近隣住民などから信号機設置の要望があがったことなどによって、2022年に歩行者用信号機が設置されました。

現在進められている都市計画道路の整備では、あらかじめ信号機が設置されるように、地域のみなさんと取り組んでいきます。



公契約条例が制定

日本共産党が提案し続けてきた公契約条例がついに制定されました！

しかし、「労働報酬下限額」の設定や罰則、審議会の設置など、課題が残されています。現場で働く方が正に評価され、ふさわしい待遇にするため実効性のある条例になるよう改善を求めていきます。



公契約条例ができると何が変わるもの？

公共事業の発注者である
市の責任（※1）が明確になります



※1 市の責任

①公共事業の適切な発注金額の設定や、労働者など（ひとり親方も含む）への不利益な取扱いに対して、事業者に指導ができるようになります。

②公共事業に携わる労働者などが、報酬が低いこと等を告発できるようになります。それにより、市が受注事業者に改善勧告をする仕組みができます。

東村山市議団ホームページを開設しました！各市議個人のページもご覧になれます。
<https://jcp-higashimurayama.net/>



地元の農家に感謝

野菜の高騰が続いています。市内には農家の直売所がたくさんあり、新鮮な野菜を安く手に入れることがけて、地元の農家のみなさんに感謝しかありません。

後継者問題や相続税、物価高騰、気候危機など都市農業を取り巻く環境は厳しさを増しています。

農家のみなさんが、安心して農業を続けていけるように、いろいろな方と協力して取り組んでいきます。



恩多町の直売所で購入した野菜。総額700円。(一月14日)

困ったときは共産党に相談を／生活保護は権利です。

年金が少ないと、物価が上がって生活が大変など、暮らしのお困りごとがありましたらいつでもご相談ください。

年金や仕事、持ち家があっても生活保護を利用することはできます。

市役所に相談に行く際の同行も行っています。お気軽に電話ください。

渡辺みのるTEL:070-2177-7629

■東村山市議団法律相談

場所：東村山市役所 日本共産党控室

日時：毎月第1水曜日(月により変更有)

※要予約のため、渡辺までご連絡ください。

■しんぶん赤旗をお読み下さい！

日刊紙 月額3,497円

日曜版 月額 930円

お申込み、お問い合わせは

お気軽に渡辺みのるにご連絡ください。



↓SNSはコチラから↓



～渡辺みのる子育て日誌～

お正月、親戚からお年玉をもらった子どもたち。お金があると行動力も上がるのか、子どもたちだけで買い物に。

長女はマンガ、次女と三女は100均のネイルやおもちゃなど、事前に何を買うのかどこを見るのか計画を立てていた。

帰りに雨に降られたようだが、雨にも負けず帰ってきた。

特に次女はしっかりしていて、お小遣い帳をこまめに書き、残金の把握と使うときには金額や目的などの計画を立てている。

三女はまだまだ「あるものを使う」という感覚で、昨年まではお年玉も半年を待たずになくなっていた。今年はどうなることやら…。

お金のことを教えるのは難しいが、大人になってから困らないように教えていきたい。